

NPO法人
築地居留地研究会
Let's find our roots in Tsukiji



主催：NPO法人築地居留地研究会 後援：東京都中央区
2024年5月度定例研究報告会 あじさい祭り

テーマ：『シーボルトの江戸滞在と「伊能図」をめぐる事件』

1823年に来日したドイツ人シーボルトが、オランダの要請に基づき、対日貿易の再興に向けた日本の総合的な調査研究を果たす中で、1826年の江戸参府旅行による江戸滞在がどのような役割を果たし、また如何なる日本人と交流を深めたかを紹介していきます。そのなかで、特に「シーボルト事件」となる幕府の天文方兼書物奉行の高橋作左衛門景保との出会いに注目し、伊能忠敬作成の日本地図いわゆる「伊能図」をめぐる、この事件がどのように起こり、そして事件の真相が何であったのか、これまでの研究成果に基づいてお話しいたします。



1835年 Joseph Schmeller 作「シーボルト肖像」

川原慶賀「シーボルト江戸参府」風景画

1961（昭和36）年東京生まれ。大学で近世後期の対外交渉史を専攻。文化・文政から天保・弘化までの長崎における日蘭関係に注目し、ドイツ人シーボルトに関する研究のほか、出島のオランダ商館から西洋砲術を導入して高島流砲術を開いた高島秋帆などの研究に取り組んできた。大学卒業後、神奈川県立高校の日本史の教員となり、その後神奈川県教育委員会に入って県立高校改革担当の課長を歴任。神奈川県退職後、横浜薬科大学の教授として歴史学と教育学に関する科目を担当。2023年に恩師である石山禎一先生と協力して『シーボルト書簡集成』（八坂書房）を刊行し、また長崎歴史文化博物館の特別展「大シーボルト展」の図録の執筆協力をも担当。現在、2026年のシーボルト江戸参府200年と高島秋帆没後160年の2つの事業に向けて奔走中。



講師：梶 輝行 氏

日時：2024年5月18日（土）14:00～16:00

場所：築地本願寺第二伝道会館

講演聴講：無料 一般公開 予約不要 どなたでも聴講できます。

お問い合わせ先：03-3551-7595



シーボルト作成「日本国地図
原地図と日本人の天文学的観察に
よる九州・四国諸島を含む日本」
(75 cm × 58 cm)」

築地本願寺第二伝道会館へのアクセス



地下鉄にてご来場の場合

東京メトロ 日比谷線「築地」駅 出口1直結

東京メトロ 有楽町線「新富町」駅 出口4より徒歩約5分

都営地下鉄 浅草線「東銀座」駅 出口5より徒歩約5分

都営地下鉄 大江戸線「築地市場」駅 出口A1より徒歩約5分